橋北中だより

BRIDGE ～あの橋をわたるとき～

No.9

令和２年７月22日

橋北中 HP

コロナ世代として

忘れられない夏の思い出をつくろう

１学期も残すところ１週間余りとなりました。今年は短い夏休みになりますが，その分，集中して，普段はできないことに取り組んでほしいと思います。

〇身の回りの断捨離(だんしゃり)・・・落ち着いて過ごせる，癒(いや)しの空間をつくろう！
〇やっぱり読書・・・デジタル機器を横において，紙の本に没頭(ぼっとう)してほしい。
〇アートなこと・・・絵や音楽，工作など作品作り。美術館や博物館で半日以上過ごす。
〇人の役に立つこと・・・「ありがとう」と言っていただけるような何か。小さいことで OK。
〇進路を見つめる・・・自分の得意・不得意，どんな勉強がしたいのか，高校見学など。

先生や親の指示 or 友達からの誘いで取り組むこともあるでしょうが，ぜひ，自分で決めて自分で実行する夏にしてください。そうすることで「忘れられない夏の思い出」が作られるのだと思いますよ。

夏を制する者は・・・

まとまった時間が取れるのも長期休暇の利点です。休業中に培った「自分で計画して １ 日を過ごす力」をここで発揮しましょう。１年生は，中学校初めての夏休みです。各教科から出る宿題に戸惑うかもしれませんが，溜めないように早めに手を付けましょう。先輩たちは，きっと，この ４ 連休から宿題に取り組んでいますよ。

３年生は，受験生としての夏休みを迎えます。１，２年生の復習を行うには，この夏休みが絶好のチャンスです。慌てず冷静に自分の学力を見つめられるのもこの時期だからこそ。繰り返しになりますが，「自分で決めた学習範囲・内容をやり遂げる」ことは，自信につながりますよ。

中体連三泗大会に向けて・・・

中体連三泗大会が迫ってきました。長期間の部活動の停止があり，十分な練習ができなかったかもしれません。しかし，３ 年生にとっては最後の公式戦となります。１つでも多くいいプレーを積み重ねて，後悔の無いようにしよう。１，２ 年生で試合に出場する人は，失敗を恐れず力いっぱいプレーすることで，短い間だけどお世話になった３年生へ恩返しをしよう。健闘を祈る！！

第１回　学校運営協議会（コミュニティスクール）を開催しました。

橋北中学校は，今年度，四日市市からコミュニティ・スクールに指定されました。これを機会に，「地域とともにある学校」の実現に向けて更に連携を強めていきたいと思います。

協議会では，

(1) 令和２年度学校教育基本方針

(2) 学校・生徒の様子

(3) 地域の声

(4) 今後の活動計画

について話し合いました。

委員の皆さんからは，コロナウイルスによる学校休業により家庭や生徒に及ぼされる影響について，心配の声が多くありました。

◆この協議会で，お互いに勉強を深め，子どもたちにとってより良い教育について考えていきたい。

◆小規模校でなければできないことを探り，ぜひ，実現していきたい。

◆カリキュラムをこなすことに重点を置くのではなく，わからない子に寄り添って授業を進めてほしい。

◆先生の一言が大きな励みになる。応援や励ましの一言をお願いする。

◆ぜひ，生徒と直接話をする機会を作っていただけるとありがたい。

といった，意見・要望をいただきました。

次回は，授業の様子を見ていただいた後，「橋北っ子に期待すること（めざす子ども像）」について意見交換をする予定です。

広島の中学校の先生との遠隔（リモート）学習

今年は修学旅行が広島方面に変更したこともあり，３年生はヒロシマについての平和学習を行っています。

７月 20 日の５限目には，広島県と橋北中をインターネットでつなぎ，地元の平岩尚子先生から直接，ヒロシマについての平和の授業をしていただきました。

平岩先生の話は，クイズや画像を交えながら，とても丁寧でわかりやすく，みんな引き込まれました。

最後に，「原爆の悲惨さを学ぶことは，決して楽しいことではない。覚悟してくるように。」と身の引き締まる言葉をいただき，「修学旅行が終わった時，原爆の碑に刻まれた『安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませぬから』の言葉をどう考えたか聞かせてほしい。」と，宿題もいただきました。

あっという間の 50 分でした。どこか絵空事であった平和について，真剣に考える貴重な時間となりました。平岩先生，お忙しい中ご準備を含め，本当にありがとうございました。